



様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2024年6月26日

いわき市長 殿

提出者

住 所 福島県いわき市錦町落合16

氏 名 株式会社クレハ
生産・技術本部いわき事業所

事業所長 影山 晴康

電話番号 0246-63-5111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

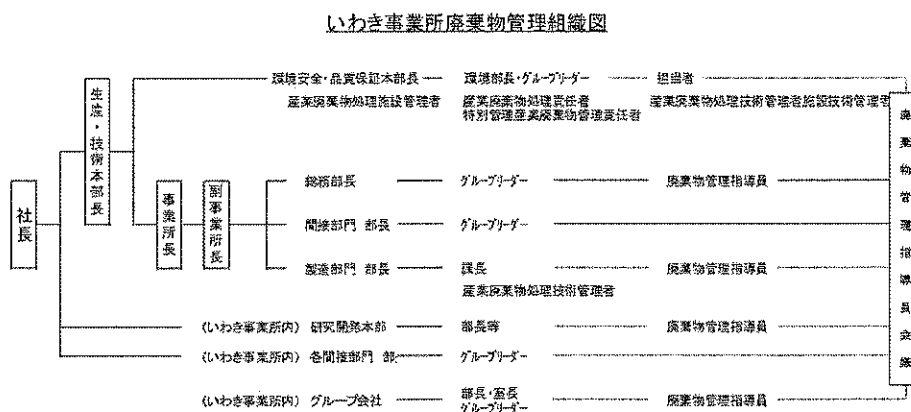
事業場の名称	株式会社クレハ いわき事業所
事業場の所在地	福島県いわき市錦町落合16
計画期間	2024年4月1日 ～ 2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	無機化学工業製品製造業・有機化学工業製品製造業・ プラスチック製造業・医薬品製造業
② 事業の規模	製品出荷額 472 億円
③ 従業員数	1018 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	

（日本工業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	排出量	別紙	t
	（これまでに実施した取組） ・燃えながら（カーボン屑）：有価売却（収集運搬は委託）を実施 ・汚泥：工程改良や安定運転継続による排出量の抑制 ・廃油：工程改良や安定運転継続による排出量の抑制 ・廃プラスチック（ポリマー屑）：対象物の有価売却を実施 ・木くず・金属屑：有価売却を実施し排出量を抑制 ・ばいじん：石炭炭種の選択による排出量の抑制		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	排出量	別紙	t
	（今後実施する予定の取組） ・燃えながら：炭素製品工程安定運転等による排出量の抑制の検討継続 有価売却先の拡大を検討 ・汚泥：工程改良や安定運転による排出量の抑制の検討継続 ・廃油：工程改良や安定運転による排出量の抑制の検討継続 ・廃プラスチック（ポリマー屑）：有価売却先の確保、拡大の継続 ・木くず・金属屑：有価売却比率増の検討 ・ばいじん：石炭炭種の選択による排出量の抑制継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 工程毎、種別ごとに分別保管 ・ 廃プラスチック・木くず・金属屑：再資源化処理のための分別実施
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 工程毎、種別ごとの分別保管と適正管理の継続 ・ 廃プラスチック・木くず・金属屑：再資源化処理を意識した分別の徹底、拡大

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙 t	t
	(これまでに実施した取組) ・燃えがら(炭繊維屑)：炭素製品原料として再利用 ・燃えがら有価売却(炭材カーボン、炭繊維屑)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・汚泥(用水ヶき)：「再資源化」、「有価物化」等、資源としての有効活用方法を検討 ・燃えがら(炭繊維屑)について有価売却先の拡大を検討		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙 t	t
	(これまでに実施した取組) 中間処理 ・汚泥：脱水設備等の安定運転、最適化による効率的処理の検討		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙 t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 自社最終処分場への搬入物減量による延命検討 ・ 中間処理減容化可能な廃棄物の焼却等の委託処分等 ・ 自社最終処分場の適正管理		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 自社最終処分場への搬入物減量による延命管理継続 ・ 発生量減量と中間処理による減容化や委託処分の検討継続 ・ 自社最終処分場の適正管理		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	全処理委託量	別紙 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙 t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙 t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 燃えがら：ボトムアッシュの再資源化処理業者への委託 カーボン材の再資源化処理先の検討 ・ 汚泥(排水汚泥)：焼却溶融再資源化及び熱回収業者への委託 ・ 汚泥・廃油・廃酸：主に優良認定業者(焼却処理)に委託 ・ 廃プラスチック・木くず・金属屑：有価売却先や再資源化処理業者への委託 優良認定認定業者(焼却処理)への委託 ・ ばいじん：フライアッシュの再資源化処理業者への委託		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙	
	全処理委託量	別紙 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・燃えがら：カーボン材の再資源化処理先の検討 ・廃プラスチック・木くず・金属屑：再資源化処理業者への委託や有価 売却比率増の検討		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙

	廃棄物種類	排出量	自ら直接 再生利用 した量	自ら行う 産業廃棄物の 埋立処分又は 海洋投入処分 に関する事項	自ら 中間処理 した量	④のうち 熱回収を 行った量	自ら中間処理 した後の 残さ量	自ら中間処理 により 減量した量	自ら中間処理 した後 再生利用 した量	自ら中間処理 した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分 した量	直接及び 自ら中間処理 した後の 処理委託量	⑩のうち 優良認定 処理業者への 処理委託量	⑩のうち 再生利用 業者への 処理委託量	⑩のうち 熱回収認定 業者への 処理委託量	⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を 行う業者への 処理委託量	自ら再生利用 を行う 産業廃棄物の量	自ら埋立処分 又は 海洋投入処分 を行う 産業廃棄物の量
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	②+⑧	③+⑨
2023年度 実施状況	燃えがら	1,860		170							1,691	1,144	1,202				170
	汚泥	19,344		56	15,463		1,863	13,601			5,688	3,987	1,700		431		56
	廃油	883									883	879	4				
	廃酸	101									101	101					
	廃アルカリ	51									51	51					
	廃プラスチック	524									524	485	43				
	木くず	32									32	15	20				
	金属くず	69									69	8	67				
	ガラスくず	26									26	26	0.4				
	がれき類	0.1		0.1													0.1
	ばいじん	10,054									10,054	2,773	10,053.9				
	石綿含有産業廃棄物	0.0									0.0	0.0					
	水銀使用製品産業廃棄物	2									2	2	2				
	水銀含有ばいじん	157									157	157					
	合計	33,104		226	15,463		1,863	13,601			19,278	9,628	13,093		431		226
2024年度 計画・目標	燃えがら	2,626		158							2,468	1,668	2,100				158
	汚泥	25,577		50	20,395		2,709	17,686			7,841	5,764	2,077		402		50
	廃油	853									853	846	7				
	廃酸	90									90	90					
	廃アルカリ	94									94	94					
	廃プラスチック	618		0.1							618	419	205				0.1
	木くず	57									57	49	11				
	金属くず	129									129	25	119				
	ガラスくず	30									30	30	0.3				
	ばいじん	10,300									10,300	3,600	10,300				
	水銀使用製品産業廃棄物	2									2	0.03	2				
	合計	40,377		208	20,395		2,709	17,686			22,482	12,586	14,821		402		208